

議決結果ピックアップ

議決第1号 「ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」



富士宮市議会では、3月1日、2月定例会本会議において、ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議を全会一致で可決しました。

平和の象徴である富士山があり、核兵器廃絶平和宣言都市である富士宮市として、今回の軍事侵攻は断じて見過ごすことはできません。ロシア連邦が直ちにウクライナから軍を撤退することを求めるとともに、全世界が協力して平和的な解決が図られることを強く訴えます。



▲ウクライナの子どもたちが描いたキッズゲルニカの作品

決議全文はこちらから

議第21号 「令和4年度富士宮市一般会計予算」

富士宮市議会は、令和4年度一般会計予算について審議した結果、賛成多数により原案可決しました。賛成、反対それぞれの考えを、次のとおり紹介します。

賛成討論（渡辺佳正 議員）

コロナ感染拡大が予断を許さない中で、無症状者へのPCR検査やプレミアム付き商品券など、市民の健康と暮らしを応援する観点から、令和4年度予算に賛成しました。遅れているPCR検査体制の改善を国に求めることや、商品券を購入できない市民への配慮が求められます。また、保育士などについて、仕事の実態に合った処遇改善を目指してほしいと思います。

賛成討論（望月則男 議員）

会派、富岳会、育成、至誠、公明会を代表して、賛成討論を行いました。予算案は、全体的に配慮されたものであり、ほんの一部の違いをもって反対することは、予算執行を望む民意を無視した暴挙と言わざるをえません。また、市制施行80周年事業が80周年のイベントで終わることなく、継続事業としていただきますよう強く要望いたします。

反対討論（近藤千鶴 議員）

新型コロナウイルスワクチン接種事業の中の、5～11歳のコロナワクチン接種の予算のみに反対です。厚生労働省が国会の分科会の答弁で「オミクロン株のデータはない」「憶測でやっている」と言っている未知のワクチン接種は慎重に対応すべきです。全国では一斉送付していない自治体もあり、次の時代を担う子どものワクチン接種だけは、ワンクッションおき、希望者からの申し込み制とすべきだったと考えます。

議第33号 「富士宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について」

富士宮市議会は、議第33号について審議した結果、賛成多数により原案可決しました。審議の中で反対討論がありましたので、次のとおり紹介します。

反対討論（渡辺佳正 議員）

コロナ禍で市職員は本当に頑張っており、地方財政計画は過去最高の税収と言われ、賃上げによる分配と成長で経済を回していくという時期に、市職員の一時金引下げは職員の士気低下につながり、社会全体の賃上げムードに水を差すという理由で反対しました。